

6 「小さな拠点」を活用し 地域コミュニティ力の向上を

これまで地域コミュニティの核として集落活動センターとあったかふれあいセンターを町内各地へ整備し、地域の主体性に先導されながら運営を行っている。今年度も、4カ所の集落活動センター運営経費を計上。

また、あったかふれあいセンター事業委託を計上しており、町内6カ所目のあったかふれあいセンターを白田川地区で開設する予定。

■あったかふれあいセン 新たに開設する白田川
ター事業委託料 地区を含めた6カ所分。

6710万円



町内6カ所目のあったかふれあいセンター
開設予定の旧伊田小学校

7 ソフト面を中心とした 防災対策の充実

地震津波防災に対するハード整備がほぼ終了し、今後の防災対策はソフト面を中心とし、その充実を図っていく必要がある。ソフト事業は住民の皆さま方と協働した取り組みが重要であり、地域ごとに特色を持ちながら個別に進めていく必要がある。

■地区防災計画作成共同
研究委託料 423万円



錦野団地の防災訓練

8 地域と共に生きる力を はぐくむ教育の充実

次世代を担う子ども達が、豊かな人間性と高い能力を身に付けるためには学校教育の充実が必要不可欠です。そこで、基礎学力の向上を図るため学校支援員配置事業費として小学校、中学校に引き続き予算計上するとともに、大方高校支援業務委託として公設塾運営および女子サッカー指導に係る経費を計上した。

また、ふるさとを愛し、地域に貢献意識を持てる子ども達の育成を目指したふるさと・キャリア教育に499万円を計上した。

■学校支援員配置事業費 ■大方高校支援業務委託

2711万円

料

865万円

小学校1897万円、 公設塾運営および女子
中学校814万円を引き サッカー指導に係る経費
続き予算計上。 を計上。



女子サッカー部の新設が待たれる大方高校